



令和3年6月15日
道路局 道路交通管理課

「ゆずりあい 道路で示す 日本の美」

～令和3年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品が決定しました～

令和3年度「道路ふれあい月間」推進標語の入選作品（最優秀賞3作品、優秀賞6作品の計9作品）が決定しました。

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しており、この一環として、令和3年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く一般から募集した結果、全国から3,713作品の応募がありました。

これらの応募作品について、「令和3年度『道路ふれあい月間』推進標語審査懇談会」の三好礼子委員（エッセイスト、元国際ラリースト）、やすみりえ委員（川柳作家）、吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）の3名に選考いただき、[小学生の部][中学生の部][一般の部]の部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を決定しました。

入選作品の応募者には、「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から、賞状及び楯を贈呈いたします。

入選作品の標語は、令和3年度「道路ふれあい月間」の推進のため、幅広く活用する予定です。

※委員名は五十音順

問い合わせ先

国土交通省道路局道路交通管理課 平川、永田

電話 03-5253-8111（内線37-422、37-423）

03-5253-8482（夜間直通）

FAX 03-5253-1617

令和3年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆ 最優秀賞（3作品）◆

◎【小学生の部】

「ゆずりあい 道路で示す 日本の美」

ながね あおい
長根 蒼依 さん （埼玉県 三郷市立彦郷小学校）

【中学生の部】

「この町の 歴史と笑顔を つなぐ道」

よう ちき
姚 知己 さん （栃木県 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校）

【一般の部】

「ポイ捨てしたら俺泣くよ」

おぎさわ あきら
荻澤 輝 さん （兵庫県 神戸学院大学附属高等学校）

◎最優秀賞3作品のうち、委員に特に好評だった「ゆずりあい 道路で示す 日本の美」を今年度の代表標語とします。

◆ 優秀賞（6作品）◆

【小学生の部】

「この道を たどっていけば 風通る」

くらち うたこ
倉智 詩子 さん （岐阜県 土岐市立濃南小学校）

「この道が あるから会える つながれる」

やまもと のぞみ
山本 希未 さん （京都府 ノートルダム学院小学校）

【中学生の部】

「ゆずり合い 目と手で交わす 合言葉」

しらはせ めい
白波瀬 芽祈 さん （兵庫県 神戸学院大学附属中学校）

「さわやかな 花と笑顔が 道に咲く」

たなか かのん
田中 花音 さん （埼玉県 ときがわ町立都幾川中学校）

【一般の部】

「踏みしめる あなたにエール 今日の道」

ばばさき みちよ
馬場崎 美智代 さん （大阪府 高槻市）

「ありがとう いい朝 いい道 いい笑顔」

やすだ けんじ
安田 健治 さん （北海道 千歳市）

【各委員からの総合選評】

《三好委員》



続くコロナ禍の中で、一生懸命生きてきた私たち。道路を通して、やはり地球上の人や自然への応援歌のような標語が多く、全てを見終わって、とても元気をいただきました。ありがとうございました。

言葉は、たとえ短くてもエールをもらったり奮い立たせてくれたりする魔法の道具。標語を見た方が、人や自分や自然にもっと優しくもっとたおやかになれたら素晴らしいなと改めて思いました。

個人的には「ポイ捨てしたら俺泣くよ」が一番驚いた作品でしたが、こんな自由さで作ってみると更に楽しいかもしれませんね。みなさん、自分だけの表現と感性で次回も挑戦して欲しいです。

《やすみ委員》



コロナ禍で一変した私たちの暮らし。その中にある「道路」にも、こしばらくの皆さんの気持ちが重なったような標語が多く寄せられたように見受けました。例えば、「会いたい」「繋がり」「支える」といった言葉がそれを代弁しているように思えました。

また、今年度は学校単位でのご応募も多くいただき、若い世代の方の標語もとても魅力的でした。「道路」はどんな時代にも、私たちの暮らしと共にあり続け、人の心を映すものなんですね。

《吉岡委員》



自粛生活の中で言葉と向き合う時間ができたのでしょうか。今年は例年を上回る応募数でした。コメントした3作品以外に優秀賞も見逃せません。

たとえば、小学「この道をたどっていけば風通る」はさわやか、中学「ゆずり合い目と手で交わす合言葉」は的確で、一般「踏みしめるあなたにエール今日の道」は暖かさが印象的です。道の標語を考え、生活や友や夢を考えて、心豊かになっていくようです。

【各委員から最優秀賞作品へのコメント】

小学生の部 「ゆずりあい 道路で示す 日本の美」

- 三好委員 「示す」と「美」が凜として、まるで書道のような美しい標語ですね。「お・も・て・な・し」の道路バージョン？ 小学生の方の作品ですが、なぜか妙齢の女性を思い描いてしまいました。だからという訳ではありませんが、誰の心にもすっと入ってきて、素直に「美しい道をみんなで守り続けていきたいな」と思わせてくれます。
- やすみ委員 しっかりとした言葉遣いが印象的な標語です。小学生の部でこのような凜としたメッセージに出会えるとは良い意味で驚きでした。日本文化の素晴らしさはさまざまな角度から語られますが、この「ゆずりあい」もそれを表すひとつですね。慌ただしい毎日の中でも”お先にどうぞ”という感覚を忘れずにいなければ、と思わせてくれる作品です。
これからも、道路でたくさんの「ゆずりあい」の輪が広がっていくことが望めますね。
- 吉岡委員 小学5年生※の作品で、今年の代表標語に選出されました。
コロナ禍でがまんすることが多い日々に、「ゆずりあい」の心が育っていったのでしょうか。感じている思いが素直に表われたような、耳にも目にも優しい標語です。道路へ、日本の美へと気持ちが広がっていくようで、8月の道路ふれあい月間に全国で見られるのが楽しみです。
※応募当時

中学生の部 「この町の 歴史と笑顔をつなぐ道」

- 三好委員 歴史という縦軸に笑顔の横軸が交差する「すてきな空間」と「気持ちのいい道」が、目の前に広がりました。静かなトーンなのに、フレッシュさと躍動感があり、とても好感を持ちました。「つなぐ」からは、今だけでなく未来への期待も伝わってきます。自分の町を愛することが第一歩なのかなと改めて思いました。
- やすみ委員 若い世代の人が自分の暮らす町の歴史に思いを馳せ、また、未来への希望を輝かせようとする心情が込められた素敵な内容です。特に「つなぐ道」とまとめた部分が標語としての完成度の高さをもたらしただけに感じます。加えて、「歴史と笑顔」という言葉からはいくつもの人間模様が想像できます。私たちの生活に寄り添う道路が、とても大切なものとして描かれた標語なのではないでしょうか。
- 吉岡委員 初めの言葉「この町の」からは人々の暮らしが伝わってきて、ぬくもりのある標語になっています。作者は中学生で歴史に興味があるのでしょうか。町の成り立ちやできごと、そこに生きた人々など、時間と空間をたどって行くのは楽しいもの。友達や道行く人々の会話が流れ笑顔あふれる、そんな町が思い描かれていて、道が生きているようです。

一般の部 「ポイ捨てしたら俺泣くよ」

- 三好委員 衝撃が走りました。このストレートで胸に響くワンフレーズは何？ 俺＝道路の悲しみがこれほど伝わる句はなかなかありません。高校生の作品ならではでしょうか、この思い切りに思わず拍手。どんな暮らしをしてどんな将来を描いているのかなども気になりました。
この先も周りに素敵なインパクトを与え続けて欲しいです。それにしても、自由でいいなあ～。
- やすみ委員 インパクトのある作品で、審査懇談会でも話題をさらった作品でした。無難なところへ着地せず、チャレンジ精神が前面に感じられるフレーズを持ってきたのですから脱帽です。道路の美化を伝える言葉が、恋愛のワンシーンのセリフとも重なっているのですから・・・面白いものです！ 標語にもちょっとした遊び心、あるといいですね。
- 吉岡委員 生き生きとした表現に目を見開きました！ アニメ時代を感じさせる動きのある言葉で、伝えたいことをダイレクトに訴えてきます。
5・7・5の音並びは日本人の身についたリズムで、俳句や川柳だけでなく標語でも圧倒的に多く使われていますが、今回はそこから離れて自由で、また道路を「俺」と擬人化しているのも新鮮です。